

イベント名：呼和浩特市高校生等受入れ

寄稿者： 井上久美子

題名： 張先生と過ごせた貴重な1日

16年前に呼和浩特へ旅行へ行った思い出もあり、ご縁を感じホームゼミット受入れを応募いたしました。当日は1才の息子を連れての行動でしたが、張先生は温かく受入れてくださり、笑顔で優しく話かけ、抱っこもたくさんしてくださいました。また、張先生は日本のライフスタイルに関心があり、様々なお話をしました。共働きの子育て環境やイエ事内容、就業時間等、話している中でわからない単語や表現は番羽訳で調べながら会話をしました。張先生から中国語のシャワーを浴びて、学生時代に学んで眠っていた中国語が呼び覚まされるような感覚を覚えました。

また、16年前に旅行した呼和浩特や草原の写真をお見せして、中国と日本の昔と今の移り変わりについてもお話することができました。

午後は着物に着替え、岡崎公園へ散策へ行きました。着物を着られてとても嬉しいと大変喜んでくださいました。岡崎公園でお抹茶をいただきながら、まだ固い桜のつぼみを見て、「この桜が満開になったら美しいんですね」と、少々残念そうでした。次回は桜が満開の時期に岡崎に来たいとおっしゃっていました。1日味噌工場見学、着物を着て散策、夜は一緒にたこ焼きを作ったりと一緒にやりたい事が多すぎて少々詰め込み気味の1日となってしまいましたが、張先生と様々なお話をしながら内容の濃い時間を過ごす事ができました。ぜひまた呼和浩特へ再訪したいと思っております。

貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

※感想文・写真は、当協会の機関誌、ホームページに掲載させていただく場合があります。

掲載を希望されない場合は、以下にチェックをお願いします。

掲載しないでほしい。